

2026 年 年次大会・講演会・交流会の報告

Rev.0 2026 年 8 月 22 日
総務委員長 海老根 昭司

先月、開催しました年次大会・講演会・交流会の報告を下記のごとく行います。

記

1. 日 時 : 2026 年 7 月 25 日(土) 13:00~18:30
2. 場 所 : ワークプラ勝田 2F 大会議(年次大会・講演会)、1F レストラン(交流会)
3. 参加者

項目	総参加者数	内訳			
年次大会	88 名	来賓: 10 名	講師 1 名	会場: 43 名 (非会員 1 名、 一般: 1 名)	WEB: 34 名
講演会	87 名	来賓: 8 名	講師 2 名	会場: 43 名	WEB: 34 名
交流会	40 名	来賓: 7 名	講師 2 名	参加者: 31 名	—

講演者

No.	所属、役職、氏名	年次大会	講演会	交流会
1	一般財団法人エネルギー総合工学研究所 理事長 寺井 隆幸 氏	○	○	○
2	(株) 日立製作所 原子力ビジネスユニット 原子力事業統括本部 テクニカルマネージャ & 日立技術士会 副会長 技術士(電気電子、機械、原子力・放射線、総合技術管理) 塩原 亮一 氏	×	○	○
	合計	1	2	2

来賓

No.	出席者(所属、役職、氏名) ◎: 挨拶、○: 出席、欠席: ×	年次大会	講演会	交流会
1	茨城県 技術革新課 課長 松長 宏一 氏	◎	×	×
2	ひたちなか市 副市長 吉富 耕治 氏	◎	○	○
3	茨城大学 IRIC 副機構長 教授 酒井 宗寿 氏	◎	○	○
4	INPIT 茨城県知財総合支援窓口 事業責任者 中村 繁之 氏	◎	○	○
5	ひたちなかテクノセンター企業支援部長 高野 佳樹 氏	○	○	◎
6	日本技術士会統括本部総務委員会 総務委員長 薄井 和久 氏	◎	○	○
7	株式会社常陽産業研究所 取締役 海老原 健 氏	○	○	×
8	日本技術士会 参与 竹下 功氏	○	○	◎
9	(株)日立産業制御ソリューションズ 常務取締役 稲田 和広 氏	○	×	×
10	(株)日立パワーソリューションズ エネルギーマネジメントソリューション本部 主管技師 藤村 尚 氏	○	○	◎
	合計	10	8	7

5. 年次大会・講演会次第

5.1 年次大会(13:30~14:20)・・・司会: 飯泉副支部長

- ・ 支部長挨拶、(高橋支部長)
- ・ 来賓挨拶(5 名)
 - 茨城県 技術革新課 課長 松長 宏一 氏
 - ひたちなか市副市長 吉富 耕治 氏
 - INPIT 茨城県知財総合支援窓口 事業責任者 中村 繁之 氏
 - 茨城大学 IRIC 副機構長 教授 酒井 宗寿 氏
 - 日本技術士会統括本部総務委員会 総務委員長 薄井 和久 氏

- ・2025 年度支部活動実績、2026 年度活動計画説明（高橋支部長）

休憩（14：20～14：25）

5.2 講演会（14：25～16：50）・・・司会：飯泉副支部長

講演 1（14：25～15：35）

演題：『原子力エネルギーの現状と将来展望-SMR を中心に』

講師：一般財団法人エネルギー総合工学研究所 理事長 寺井 隆幸 氏

休憩（15：35～15：40）

講演 2（15：40～16：50）

演題：『日本と世界のエネルギー状況の紹介』

講師：株式会社 日立製作所 原子力ビジネスユニット 原子力事業統括本部 テクニカルマ
ネージャ & 日立技術士会 副会長 技術士（電気電子、機械、原子力・放射線、総
合技術管理） 塩原 亮一 氏

休憩（15：50～16：00）

5.3 交流会（17：15～18：30）・・・司会：佐藤副支部長

1F レストランに移動し、

立食形式・アルコール付きで開催

参加者は銘々が自由に場所を移動しながら交流

- ・開会挨拶 高橋支部長

- ・来賓挨拶

ひたちなかテクノセンター企業支援部長 高野 佳樹 氏

（株）日立パワーソリューションズ エネルギーマネジメントソリューション本部

主管技師 藤村 尚 氏

日本技術士会 参与 竹下 功 氏

- ・乾杯 （株）日立製作所 技術士会 会長代行 柴垣 琢郎 氏

—— 各人各様の交流 ——

- ・中締め 岸参与

6. 写真：



講演会場の様子



挨拶(高橋支部長)



来賓挨拶(松長氏)



来賓挨拶(吉富氏)



来賓挨拶(中村氏)



来賓挨拶(酒井氏)



来賓挨拶(薄井氏)



講演者(寺井氏)



講演者(塩原氏)



交流会の様子（来賓の挨拶）



挨拶者（竹下氏、藤村氏、高野氏）



乾杯（柴垣氏）



中締め（岸参与）

7. 運営上の振り返りと課題

（1）設備関係

- ・設備が従前と変更になっていたが、事前の設備確認（7月1日実施）の効果で、会場音声、Webとも問題なく運用できた。
- ・今回もカメラ撮影を省略した。しかし、Web参加者に対しては、会場画像があるほうが親切であるが、今後の課題とする。（特に年次大会の様子）

（2）Web 関係

特になし。直前に会員外からの申し込みがあったが、丁寧に説明しお断りした。

（3）受付関係

- ・チェックリストが五十音順になっておりチェックしやすかった。（以前の反省を反映した結果）
- ・交流会用名札に不足が生じた。前回使用した名札の回収不足の影響と思われる。

8. 総括

- ・役員会前（9:30）からの準備開始としたので、準備・運営とも大過なく、今回の講演会と交流会を盛況のうちに終えることができた。
- ・会場参加者が50名以上（来賓含む）に達し、コロナ禍で激減していたものをだいぶ回復しつつあるという感じがした。今後はもう少し参加者の増加を目標（来賓除き50名以上）としたい。
- ・来賓挨拶が予想外に長く、支部活動報告がほとんど出来なかった。また講演で質問の時間が取れない状況だった。しかし、その後の交流会では大変盛り上がったようなので、総じてよかったと思う。